

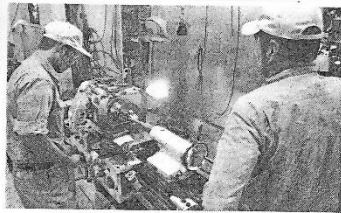
八百津高校のデュアルシステムが 大学新聞(2017年10月10日第148号) に掲載されました。

年間を通じた取り組み

可能性を引き出す企業実習

岐阜県立八百津高等学校

岐阜県立八百津高等学校 集めているのは、平成28年度(岐阜県加茂郡八百津町)より地域企業と連携した「デュアルシステム」だ。高校2年生を対象に、毎週1日を利



企業実習に取り組み姿は真剣そのものだ

用する「企業実習」と実習の振り返りや社会人基礎力を身につける週2時間の講座「企業実習基礎」で構成され、年間を通して取り組んでいる。同カリキュラムの狙いは、生徒の人間関係形成能力および情報活用能力・将来設計能力・意志決定能力の育成だ。一方、企業側は優秀な労働力による企業の発展、そして八百津町の活性化が期待できる。原則8時半~16時内で各企業の実習に取り組み、社会人能力を養成している。実習を受けて、「指示を確実にこなせるようになった」「挨拶の声が大きくなった」と、自己効力感の向上を実感できた。

している生徒が多いようだ。一方、「コミュニケーションが不十分だ」と、反省点を挙げている生徒も少なくなく、それぞれの課題発見につながる、自己成長につなげようという意気込みの様子も散見される。

同カリキュラムの締めくくりとして、デュアルシステム受講者による「成果発表会」を実施しており、同校の1・2年生のほか、受入れ企業が聴講する。また、生徒の発表にとどまらず、複数の受け入れ企業による座談会を実施。現役で活躍する社会人の声を聴けるとあり、多くの生徒の刺激となっている企画だ。

進路指導主事の志比頭秀教諭は「生徒が社会や企業に出て体験したことを報告することに意味があると感じています。こうした情報共有を通して、欲しい」と、デュアルシステムを終えた生徒の成長と周囲への影響に期待を込めた。

社会を経験した彼ら・彼女らの今後の活躍に期待したい。